



老人クラブの打ち合わせ会、昼食は「味ごはん」。

# 広報

# ひがし しらかわ

1993  
平成5年

5

No.384

- 発行/東白川村
- 編集/企画財政課  
岐阜県加茂郡東白川村神土  
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

## 人口の動き

—4月末住民登録人口から—

世帯数	905世帯
人口	3,436人
転入	24人
転出	20人
出生	6人
死亡	1人

先月と比較して9人増  
 昨年同月と比較して  
 24人減

## 夢をのせ、二つの館が完成！

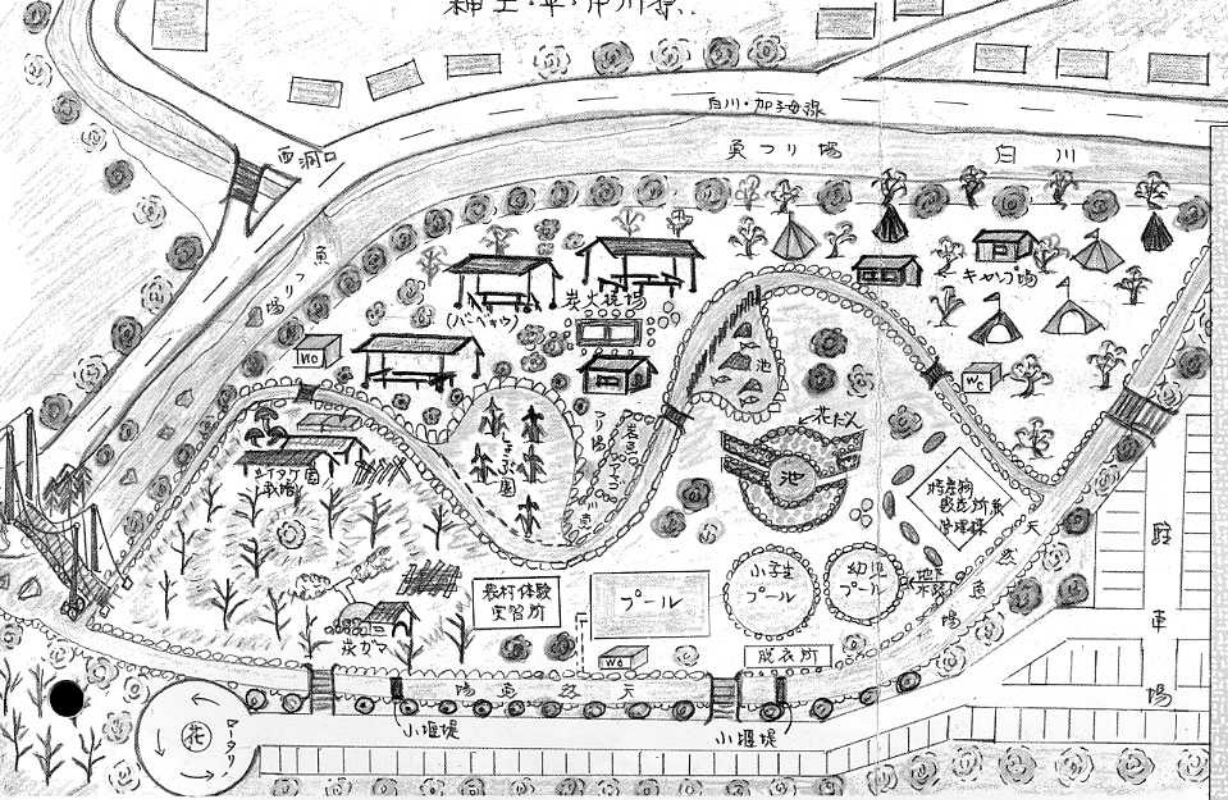
4月27日は、新しい村の自慢が一度に二つ増える日となりました。待望の宿泊体験施設「こもれびの館」と物産販売施設「つちのこ館」が竣工となったのです。

5月19日からこもれびの館では、新しいタイプのティサービス「高齢者生きがい活動」も開始。それに先立って4月30日に各老人クラブの打ち合わせが開かれました。（竣工関連記事は4～5ページに記載）



つちのこ館の竣工神事

# 田舎らしさをフルに生かした公園づくり



今、私たちが誇りに思えるもの、自慢できるもの、いくつかあると思いますが、将来、子どもたちに残さなければならぬもの、それは、自然景観ではないでしょうか。

「足元を見つめ直す時代」という言葉をよく耳にします。村で足元を見つめ直した結果、自然を生かした公園化構想が生まれました。

## 美しい村づくり特別対策 地区に指定

国では、美しい自然景観を残し、守っていくために平成四年度から二年間、全国七十市町村を対象に補助を行い、豊かな緑と水を生かした都市にはない農村独自の景観整備を実施する事業「美しいむらづくり特別対策事業」を開始。私たちの村は、県内では、郡上郡八幡町とともにこの七十市町村のうちの一村として昨年「特別対策地区」の指定を受けました。

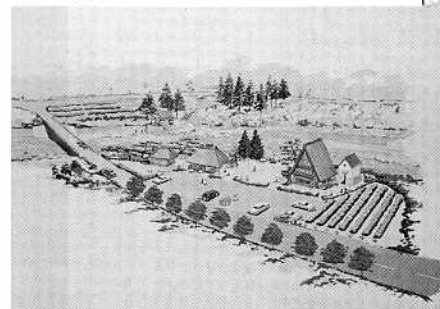
めには…。そんな中から生まれたのが「東白川全域公園化構想」です。

## 村内外から アイデアを募集

村では、この構想を進めていくため昨年の六月から約一か月間、白川とその支流の景観を最大限に活用し、水に親しむ施設を配置した公園のイメージプランの募集を新聞折り込み等を通じ行ったところ、村内外から十二点の作品が集まりました。

上のイラストは、成瀬弘さん（美濃加茂市）の応募作品で、平中川原付近の構想図です。

また、このアイデア募集と並行して、学識経験者や村づくりに対しさまざまな活動を展開しご尽力下さっている方などから



応募作品が生かされた東白川お茶公園

なる「美しいむらづくり構想策定委員」十名を選任し、昨年六月二十三日と七月二十八日の二日間をかけ、村内十五か所の公園化候補地の視察を実施。各候補地で「地域の特性」「住民の動向」「土地の動向」「将来性」の五部門、四十八項目に及ぶ調査を行い、その場所が公園としてふさわしい場所かどうかの評価をしました。

この調査と皆さんからお寄せいただいたアイデアとを合わせて検討した結果、村内の十か所からなる「東白川全域公園化構想」としてまとめ、この三月にその全ぼうを発表しました。

# 架空!

## 東白川公園めぐり

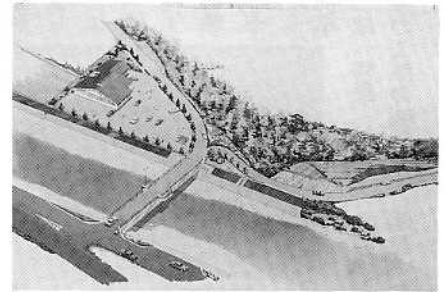
清流白川とその支流を中心に公園化が決定した十か所。少しの早い感じもありますが、全ての公園ができたと仮定して、白川街道を上りながら順にご紹介しましょう。

白川町境から白川街道を上って大沢橋を越えた辺り、左手に最初の公園「東白川お茶公園」(仮称)があります。対岸に白川茶発祥の地の看板が眺められるこの公園は、和風喫茶や茶室、白川茶資料館を持ち、その名の

ごとくお茶づくしの公園です。五加バイパスを進み名商大セミナーハウスを越えると「白川清流公園」(仮称)が左手に見えてきます。

カーネーション園地に近いこの公園は、まさに花公園、河川敷には花壇と池。特産品販売所もあります。

白川街道から南北橋を渡り久須見川を上った五介の滝には



沢尻橋公園イメージ図

「五介の滝公園」(仮称)があります。滝を中心に整備されたこの公園は、伝説の五介の洞窟もある森林公園。白川町黒川方面へ行く人の休憩場所となるでしょう。

中川原付近は、「中川原河川公園」(仮称)として整備されています。「こもれびの里」が山の交流ゾーン。ならここはまさに「川の交流ゾーン」。スポーツ広場や野外ステージがあり、ここでは、イベントやコンサート、キャンプも可能です。

中学校前から対岸に渡る沢尻橋を中心に設けられているのは「沢尻橋公園」です。対岸の山の中腹には、平集落を見渡せる天望台が設置されています。また、佐広川を上った親田の榎の子神社付近には「榎の子公園」(仮称)があります。パー

ベキューハウスも設けられたこの公園では、イベントも可能でつちのこ探索の前線基地です。新しい越原バイパスを上ると味の館に隣接しているのが「白川瀬音公園」です。ここには、水車小屋や池があり、白川方面加子母方面から入って来る人の休憩の場所として最適です。

越原小谷から大明神川を上り、黒瀬の石造物群一帯は、「ハナノキ公園」(仮称)として整備されています。村の文化財石造物群を中心に、花ショウブ園や花壇が作られており、春には花でおおわれて道行く人の心も和むことでしょう。

さらに進むと大明神には「弁天桜公園」(仮称)が広がっています。淡いピンク色の花をつける弁天桜は村のシンボル。お花見のころは大にぎわいです……。

以上、あくまでも架空の十公園を走って見てきましたが、このうち「沢尻橋公園」と「白川瀬音公園」につ

いては、「美しい村づくり特別対策事業」として国からの補助を受け、二か年の計画で今年度中には整備が完了し、沢尻橋公園には、展望台と散策道などが、瀬音公園には水車小屋などがお目見えすることになっています。また、残る八か所の公園については、平成六年以降、平成十年くらいまでを目安として国や県の補助を受け、予算の範囲内で順次整備を行う予定です。

なお、この構想を詳しくまとめた本「東白川全域公園化構想―清流の里づくり」は、役場農務課にて扱っております。

## 子どもたちに美しいイメージで伝えたい

神土上親田への登り口の小公園がお目見えしました。

その名も「乙女の滝」。安江文吾さん、安江康助さんら親田の五人の方の有志で地主



その名のとおり美しい滝です

さんの許可を得て、まわりを整備し、石を積み、看板を設置したもの。「名称は、文吾さんのアイデア。以前この滝は、「しょんべん滝」と呼ばれてあまり評判が良くなかったので、名前を変えたのを機会に整備しました。子どもたちに良いイメージで伝われば……」とは安江康助さんの話。ちよっと一休みしたくなるような美しい場所です。



開発が進む白川瀬音公園(陰地)



# 同時オープン



こもれびの館の一般公開は、5月2日から3日間行われ、約500人が来場。

平成四年度事業として工事を進めてきました、宿泊体験施設「こもれびの館」と生産物直売施設「つちのこ館」二つの施設の竣工式が、去る四月二十七日、百人を超す来賓をお招きして盛大に行われました。

## 木のぬくもり を重視した 両施設

村の新しい「顔」として誕生した両館については、先月号で簡単に紹介しましたが、両施設とも建物は、三月中旬に完成し、約一か月の間、整備などが行われ、まさに満を持しての竣工式となりました。

こもれびの館が平の後山に位置し、つちのこ館が、ふるさとセンター横にあるため、竣工式典は両館を移動して実施。午前八時三十分からこもれびの館での神事後、つちのこ館へ移動。神事に続いて、つちのこ館の竣工式



## つちのこ館 を飼育・ つちのこ資料館

年味の館（農産物加工施設）で開発され、大きな話題を呼んだ「こ館」。一階には、昨

レモニー。テープカットや館内見学が行われ、十時五十分から再びこもれびの館へ戻って、同館の丸太小屋（バーベキューハウス）にて感謝状贈呈など一連の竣工式が行われました。二つの施設が同じ日に竣工式を行ったこともあって少々忙しい式典となりましたが、両館とも「あたたかいふるさと」をイメージしたもので、ともに木造瓦ぶきということもあり、式典に参加した皆さんからは、「あたたかい感じのする施設」といった声がかれました。

## オープンを記念して特別セール

ふるさと企画では、つちのこ館の竣工を記念して四月二十七日から九日間、オープンセールを実施しました。特産品、健康野菜の市に加え、つちのこ資料館の人氣も加わって、ゴールデンウィーク期間中は大盛況。中でも五月三日は、つちのこイベントや、こもれびの館の一般公開の日と

### 健康野菜は注目の的！



ということもあって、終日大にぎわいとなり、のべ千五百人の人が来店。職員の皆さんもまさに「嬉しい悲鳴」の一日となりました。

トマトジュースとまとのまんまを始め、特産品白川茶、漬物、クッキー…など村で生まれた特産品が所狭しと並んでいます。

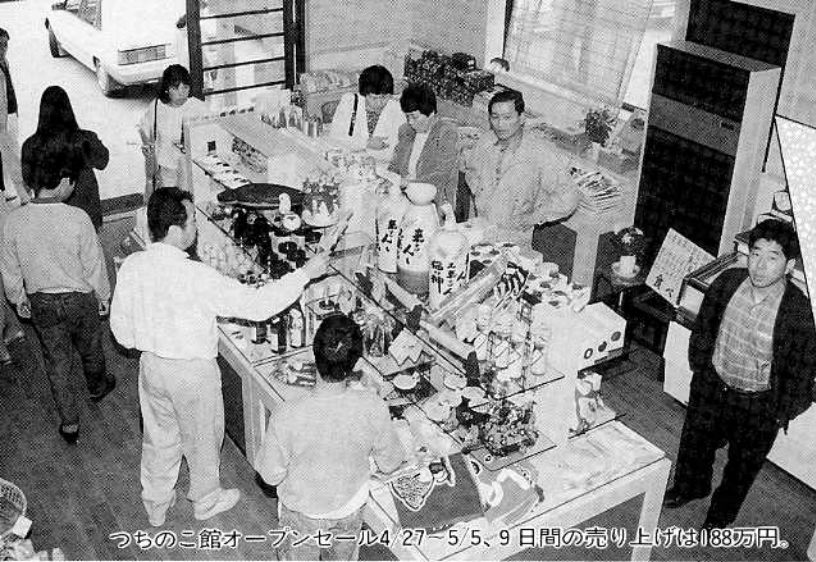
村内での目撃者の話をまとめたパネル展示を始め、つちのこについて記す文献や古文書などの展示に加え、最大の目玉となるのは何といっても、



「つちのこ体験室」中では、目撃者の証言をもとにして作られたつちのこ六匹（？）がおり、人の気配を感じて動くしくみになっています。入場は有料（大人三百円、小中学生百円）となりますが、

この日の竣工式では、それまで謎のベールに包まれていた二階の「つちのこ資料館」の全ぼうが初めて披露されました。村の名前を一躍全国に響かせたのは、謎の生物つちのこ。この資料館では、

# 二つの施設が



つちのこ館オープンセール4/27-5/5、9日間の売り上げは188万円。

て、今後村内外に大きな話題を呼びそうです。

## 「元気村」にはずみをつけるこもれびの館

つちのこ資料館を持つつちのこ館が、楽しめる「おもしろ館」ならば、こもれびの館は、まさに「ふれあいの館」と呼ぶにふさわしい施設となりました。

竣工当日には、こもれびの間と手習室にある囲炉裏に初めて火が入り、自在鉤につるされた鉄瓶がコトコトと音をたてる様子、何ともいえない雰囲気。

今月十九日からこの施設を使って、元気なお年寄りの皆さんを対象に「高齢者生きがい活動」が年間五十日、夏ごろからは、小中学生を対象にした「ふれあい体験合宿」が年間六十三日の予定でスタートします。さらに夏休みに、村外の皆さん



この春からは、社員を三人増やし六人の体制となりました。この両館の完成は、今後ふるさと企画がさらに大きく飛躍していくための待望の施設誕生となりました。

の宿泊体験も計画されています。人と人、人と自然の交流ゾーンこもれびの里の一環として作られたこの館は、木のぬくもりに包まれて年齢や世代を越えたふれあいの場となることでしょう。

## 大きくはばだけ

### ふるさと企画

この両施設は、ともに村で作ったものですが、管理運営は頼ふるさと企画が、村から委託を受けて行います。

「社長は村長、株主は村民」のキヤッチフレーズで三年前にスタートした第三セクターの村おこし会社ふるさと企画。

ふるさと企画が、この両館を有効に使うために大きくはばたいていくこともこの両館の目的の一つなのです。

## 一足お先に記者発表会

「両館の完成を村外の皆さんにも知ってもらおう」。四月二十七日の竣工式に先立って二十四日に両館の記者発表会が開かれました。

当日、出席した報道関係者は、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、岐阜新聞、日本農業新聞、東海ニュースの五社。また、来賓としてふるさと企画の運営などのアドバイザーとしてご尽力いただいている岐阜総合研究所の竹内繁忠さん、(株)ミタコンサルタント正村洋右さんを招いての発表会となりました。

一行は、まずつちのこ館にて担当課から施設の概要などの簡単な説明を受けたのち施設内を見学、次いでこもれびの館へ移動して同様に発表。こうした発表会は、村では初めての経験。各社とも職員を捕まえては、いろいろな質問せに…。施設のあちこちでは、カメラのフラッシュがまばゆいほどにたかれて、この日の両館は、あたかも芸能

人の記者会見を思わせるような熱気に包まれました。各社とも最も興味を抱いたのは、やはり「つちのこ資料館」のようでした。体験ゾーンでの撮影も余念がなく、二十五日の朝刊には、「幻の動物の全資料展示」（読売新聞）「幻も目撃者相次げば真実味？」（岐阜新聞）「搜索の前線基地完成」（毎日新聞）など見出しで各紙に大きく掲載され、ふるさと企画へも村外から問い合わせが殺到するなど発表会は大成功でした。

なお、記事の写しはつちのこ館に展示してあります。



発表会では長寿膳の試食もありました

# ママを探しの夢追い人

## その成果は...

今年5/3に

### 捜索隊編成

村のイベントとしてすっかり定着した感のあるつちのこ捜索イベント。つちのこ捜索大作戦が五月三日、親田農村公園周辺を会場に開かれました。

今年から農村公園前には親田地区の有志の皆さんによる立派な看板が設けられ、また公園内には、念願だった常設ステージも作



探策それとも散策？

られるなど、イベントを行うにふさわしい姿が整いました。ところが前日二日の準備の日は、大雨注意報が出るほどの雨。夜

半まで大粒の雨が降り続く天候。しかし、スタッフの願いがかなったか

当日は晴天とはいか

ないまでも、ときおり雲の合間から太陽が顔をのぞかせるし、ぎやすい一日となりました。

この日の参加者は、遠くは名古屋からという人も含め約四百五十人。威勢の良い出陣太鼓とともに、手におなじみの捕獲棒を持って張り切って出発。

「何が楽しいか」といえば、空気がおいしくて、緑の美しい山を歩けることですね」と話してくれ

たのは、五回連続出場という名古屋からの参加者。どの参加者も手にはお目当て(?)の山菜をど

っさり抱えて帰山しました。目的のつちのこは?といえは残念ながら今回も「幻」に終わりましたが、中には、各務原市から家族といっしょに参加した中学一年生、中森裕さんのように、ママシに遭遇するといった



中森裕さん発見したママシ

めざすは生け捕り104万円、いざ出陣!

# おしらせ

## 歌会始のお題は

### 「波」 詠進歌受付

平成六年歌会始のお題は「波」と定められました。

詠進要領は、次のとおりです。

①詠進歌は、自作のもので一人一首とし、未発表のもの。

②用紙は、半紙(和紙)とし、毛筆で自書のこと。(但し、病

気または身体障害のため自書のできない場合は、別紙に代筆の理由、代筆者の住所、氏名を書いて詠進歌に添えて下さい。)

③書式は、半紙を横長にし、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名(本名、ふりがな)、生年月日、職業を縦書きで書いて下さい。(無職の場合、単に「無職」でも差し支えないですが、なるべく元の職業を書いて下さい。また、主婦の場合、単に「主婦」でも差し支えありません。)

④詠進期間は、九月三十日まで。(郵送の場合は、九月三十日消印有効。)



⑤あて先は、「〒100東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えて下さい。

⑥そのほか詳しい詠進要領は、企画財政係(有線二二八五)までお尋ね下さい。

## 神土区長さんが

### 交替されました

四月一日より神土区長さんが交替され、次の三名の皆さんになりました。(敬称略)

神土区長 新田利一(平)

越原区長 桂川卓也(黒瀨)

五加区長 嶋田進(宮代)

## ふれあいのかおり'93

### が開かれます

三重県香良洲町香良洲公園において「ふれあいのかおり'93」が開かれます。村からも椀茶太鼓とパザーが出店します。

●とき/六月六日午前九時半



## 東白川村議会 議長に古田氏が就任

5月7日に開かれた東白川村議会臨時会で、私約交替によって議会役職の改選が行われました。  
新しい議会構成は次のとおりです。

職名	氏名
議長	古田 眞之助
副議長	田口 迪夫
議会運営委員会	委員長 田口 哲彦
	副委員長 安江 誉
	委員 安江 久夫
	委員 村雲 直樹
民教常任委員会	委員長 村雲 直樹
	副委員長 今井 幹雄
	委員 田口 哲彦
	委員 熊澤 健
	委員 松岡 諄
	委員 古田 眞之助
建設常任委員会	委員長 安江 久夫
	副委員長 古田 好夫
	委員 安江 誉
	委員 今井 仙二
	委員 安江 康助
委員 田口 迪夫	

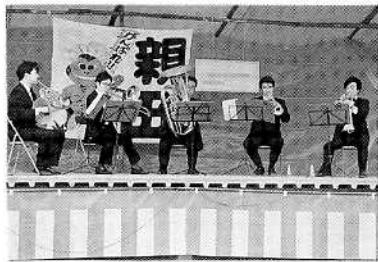
## 新しい企画も 加わって…

今回のイベントから実行委員会の中に、この三月正式に発足した、観光協会も加わり、会場で行われたバザーなども例年以上に、大盛況。食べ物を買ったバザーは、どこも完売の状態。中でも綱引きクラブが行った山菜の天ぷらは、大好評だったようです。

「うちのこが午前中しか出てこない？」こともあって捜索は例年どおり午前中で打ち切られましたが、午後からは、新しい企画として画としてステージショーが行われました。椀茶太鼓、民謡クラブの出演に加え、中学校の星名先生の紹介で愛知県から出演下さったNSB（長久手シンフォニックバンド）による、ブラスアンサンブルも行われ、金管楽器の音色が、山々に響き



NSBのアンサンブル



NSBのアンサンブル

わたるなどこの企画も大好評。今年のイベントは、自然散策ばかりでなく芸術鑑賞も加わって一度に二倍楽しめたイベントになりました。

## 図書コーナー

オードリー・ヘップバーン



チャールズ・ハイアム著  
彼女がどうしてユニセフの平和活動に力を入れているかわかった。又、自分にコンプレックスを持ったり家族を大切にしている事など映画の中とは違う面が、彼女を身近に感じさせた。  
推薦人 (27歳 女)

ママ・アフリカ

テレビではアフリカの自然を見ることはできるけれど、アフリカが本当に抱えている問題が見えた気がした。アフリカは世界のなかでも案外優しい人々が住む国なのかもしれない。  
推薦者 (24歳 女)



## 自動車税は納期限内に 納めましょう

納めましょう

今日、私たちの生活の中で自動車はなくてはならない存在と なっていますが、自動車税とい う税金も皆さんにとって大変身 近な税金であると同時に県の貴 重な財源としてなくてはならな いものとなっています。

自動車税は原則として、毎年 四月一日現在自動車をお持ちの 方に課税されることになってお り、今年度の納期限は五月三十 一日(月)です。五月中旬に納税通 知書を送付しますので、最寄りの 銀行または、郵便局などで納

めて下さい。なお、納税により 金融機関などの領収印を受けた 納税証明書は、車検の際に必要 ですから大切に保管して下さい。

また、他県から岐阜県へ転入 された方は、自動車登録変更手 続きはお済みですか。自動車の 登録は、定置場(車庫)のある 県内の陸運支局で登録すること になっています。変更には、若 干手数料が必要ですが、是非変 更いただくようお願いします。

詳細は、〈登録変更〉岐阜陸 運支局 ☎〇五八二(七九)三七 一一〈自動車税〉岐阜自動車税 事務所 ☎〇五八二(七九)三七 八一まで。



苗木を担いで登るまでが一苦労

## 奉仕 村民約百人が参加 第二水源の森記念植樹

「豊かな水を生み出す森を作ろう」。四月二十五日、簡易水道事業の大明神川水源地域にあたる国有林において「第二水源の森」植樹祭が行われました。

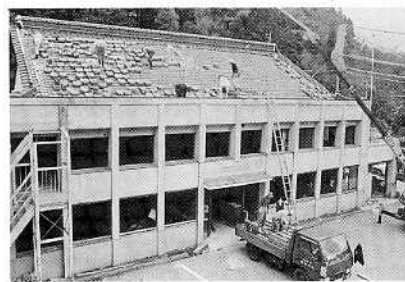
この植樹は、昨年に次いで二度目。第二水源の森の場所は、昨年植樹を行った水源の森の西側の国有林四・九三ヘクタール。昨年同

様村が名古屋営林支局から借り受けて分取造林契約を行ったものです。

当日は、風が強く、今にも雪が降ってくるような寒さの厳しい、春らしからぬ一日。しかも今年の場所は、昨年に比べ何も持たずに登っていくだけでも息が切れそうな急斜面。植樹の作業も悪戦苦闘の状態でしたが、老人クラブの皆さんを始め、参加した皆さんの頑張りの甲斐あって用意された一万本の苗木は、予定より一時間も早く無事に植え終りました。

折りしもこの日は、「戦争で荒廃した国土に緑を回復させよう」と昭和二十五年から始まった全国植樹祭の当日。しかも戦後初めて天皇・皇后両陛下が沖縄県を訪問され、平和を願って植樹をされた記念すべき日。

水源の森は、「水源涵養林」（水を作り出す森）という役割ばかりでなく、「地域環境を守る森」としてその役割が期待されているのです。



24日には屋根瓦も下ろされた庁舎

## 競売

### 思い出残る庁舎備品 百九十点が落札

役場庁舎取り壊しを前に四月十四日から五日間、役場備品の公開入札が行われ、窓、ドアから瓦まで約百九十点が落札。二十一日から引き渡されました。入札票は五百四十票。競売期間中訪れたみなさんは、「こんな所まで初めて入った：」などの声も聞かれ、品定めもさることながら役目を終えた庁舎への感慨もひとしおのようでした。

## 功労 助産婦一筋四十五年 田口さんに知事表彰



田口千春さん

平成五年度の県各界功労者の保健衛生功労者部門に平の田口千春さんが選ばれ、五月十日梶原県知事から表彰を受けました。田口さんは、昭和二十二年か

ら村で産婆業を開業。昭和四十三年母子センターの開所とともに助産婦として平成二年辞められるまで四十五年の永きにわたる活躍されました。

今回の受賞に「産婆を始めたころ中谷や親田へ歩いて通ったことが一番の思い出です。今は立派な施設もあるのでもっと子どもが増えることを期待しています」と話してくれました。

### ■戸籍の窓―敬称略（四月）

誕生おめでとうございませす

（下親田）安江 雅人 純樹

（大明神）長谷川正利 洋子 絃一

（上親田）古田 辰夫 拓摩

（大沢）今井 英史 晶恒

（日向）牧野 勇三 綾香

（平）大澤耕太郎 綾人

（平）大澤耕太郎 綾人

いつまでもおしあわせに

今井 貞男（七宗町）

菊田 久美（曲坂）

後藤 忠雄（岐阜市）

安江美佐紀（上親田）

おくやみ申し上げます

桂川 忠子 73歳（日向）

■善意の寄付―敬称略

（東白川小学校へ）

ぞうきん三十枚―東白川村婦人会五加支部

造花カーネーション百三十五個―東白川村母子寡婦福祉会

（東白川中学校へ）

ぞうきん二十枚―東白川村婦人会五加支部

（神戸保育園へ）

わらぞうり六十五足―田口貞



## 成果

### 緊張・熱気・奮闘 第29回村消防操法大会

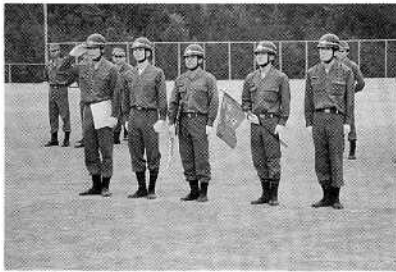
「さあー気合い入れて行けー」  
「よし、いいぞ」。力強い声援に沸いた第二十九回東白川村消防操法大会が、五月九日総合運動場で開かれました。

昨年からの操法の大幅な変更に加え、今年は小型動力ポンプの水出しも行われましたが、短い訓練期間にもかかわらず、団員全員が努力が見事な操法を実現。熱戦につぐ熱戦が繰り広げられた大会となりました。

大会の成績は、次のとおりです。  
(敬称略)

#### ▽小型動力ポンプの部

- 優勝―第一分団第六ポンプ  
指揮者 安江 正悟  
一番員 安江 正明  
二番員 安江 周哲  
三番員 安江 昭久  
準優勝―第一分団第八ポンプ  
三位―第一分団第四ポンプ  
四位―第三分団第十三ポンプ  
五位―第一分団第三ポンプ
- ▽ポンプ自動車の部  
優勝―第三分団ポンプ自動車  
指揮者 牧野悠紀史



郡大会に出場する第三分団自動車ポンプ

#### ▽小形動力ポンプの部

- 一番員 安江 武司  
二番員 安江 智樹  
三番員 安江 真博  
四番員 安江 健
- ▽個人表彰(優秀賞)  
指揮者 田口 安範  
一番員 安江 武司  
二番員 村雲 和裕  
三番員 安江 真博  
四番員 安江 健



白い絹垣に覆われて

役場庁舎の建設にともなって、こまればの里へ移転すること

## 移転

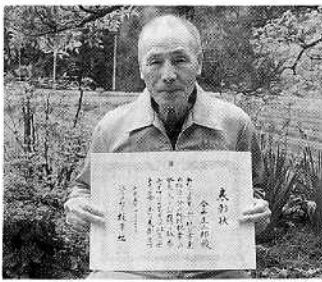
### 神さまのお引越し 慰霊塔仮遷座祭

なった、慰霊塔。この慰霊塔の社殿をハナノキ会館付近に移すまでの間、霊聖を一特別の場所に移す祭、仮遷座祭が四月十日厳かに行われました。

「オオー」という警蹕の声中、絹垣に覆われ輿に乗せられた霊聖を松明だけの闇の中で移されるこの祭。仮殿となった神田神社社務使殿に納めるまで約二時間を要しました。

## 表彰

### 丹精こめた苗づくり 大輪の花をつけました



今井正三郎さん

「趣味が高じて始めた花づくりにこんな立派な賞をいただいた

るなんて」と喜びを語ってくれたのは、四月二十九日開かれた「岐阜県みどりの祭り」において緑化功労者として知事表彰に輝いた今井正三郎さん(西洞)。今井さんは、永年自家生産した花木等で村の花かざりに活躍しています。「これを機に村の隅々まで花いっぱいになるように頑張りたい」と力強く話してくれました。

造(中通)

【越原保育園へ】

ラジカセ一台||稲垣進(陰地)

▼ラジカセ一台||安江誠(大明神)

【五加保育園へ】

こいのぼり一セット||星川宏(白川町)

■工事入札の結果

①は入札期日②は落札金額  
および落札業者

▼村道舗装修繕工事

①四月二十三日②三百三十九万九千円、(有)立保土木

▼村道小破修繕工事

①四月二十三日②百三十九万五千円、新田建設

▼庁舎建設急傾斜地崩壊防止施設工事 ①四月二十三日②二百七十三万三千円、丸登建設(株)

▼下野地区農道舗装工事

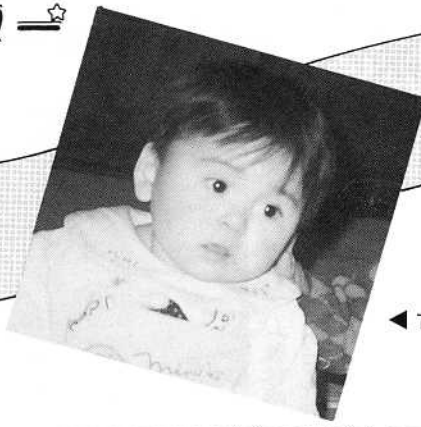
①四月二十八日②五百三十五万六千円、山田土建(株)

▼東白川村役場庁舎新築工事

①四月二十八日【建築工事】

②二億七千二百七十四万四千円、木村建設(株)【機械設備工事】②八千九百六十一万円、ホームセンターナカシマ【電気設備工事】②五千二百二十九万四千円、伸光電気商会

満1歳



古田真由実ちゃん

(俊之さん・竜子さん二女＝柏本)

このコーナーの子どもたちみな同い年。10年後、20年後「広報」をみればどう！1歳のあの子の顔が...

訂正とおわび

4月号満1歳の欄で安江あずみはあづみの誤りでしたので訂正しおわびします。

ふれあい広場

新婚さん

ワン・ショット

披露宴を行っています。

会員のみなさんは、酒屋あり、旅館業あり、写真屋ありとその道ではプロの方ばかりであつても披露宴の演出という点では、いわゆる素人。音響や照明、会場の設営に至るまで全てを、手作りのあたたかさ」をモットーに心を込めておもてなしをし、大きな式場にも負けないくらい

毎月村に誕生した新婚カップルを紹介しているこのコーナーですが、今月は一回お休みして、違った角度から新婚さんを見てきた人たちを紹介してみたいと思います。

「一生に一度という大切な場を演出させてもらっているから本当に気を使いますよ」と話してくれたのは、商工会事務局長の今井俊郎さん。商工会商業部会の有志のみなさん二十五名による「しあわせを招く会」(代表安江建夫さん)は、昭和六十年発足して以来、これまでに二十組の結婚式の披露宴を行っています。

「はつきりいつて他の式場と比べるとかなり安く、商売をどがえしたような活動ですが、これからも村で誕生する若いカップルたちを少しでも応援していきたい」と会員のみなさんは張り切っています。

これまで村民センター大集會室を会場としていたため、招待者が百人を超えるような時は、やむを得ずおことわりしたこともありましたが、そうした意味でも百人以上収容可能なハナノキ会館のコンベンションホールの建設には、大きな期待を寄せています。

「はつきりいつて他の式場と比べるとかなり安く、商売をどがえしたような活動ですが、これからも村で誕生する若いカップルたちを少しでも応援していきたい」と会員のみなさんは張り切っています。

ふれあいの生活

13

ひご

竹で編んだ入れ物にひもを付けて腰に縛りつける道具、総称して竹籠(たけかご)ということになります。私たちの村では編み目を空けて穴を作ったものをかご、それより小型の編み目を詰めたものをひごと呼んでいたようです。このひごもかごも農作業に出る時はそのどちらかを必ず腰につけて行くのがならわしでした。行きがけに抜いた草を入れたり、秋になれば畑にこぼれた豆や栗の実一粒でも、もったいな

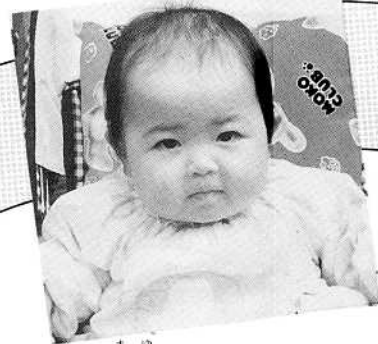
いと拾って入れ持ち帰りました。ひごが最も使われたのが茶摘みです。今でも手摘みには無くてはならない道具ですが、昔は全部手摘みですから、全部のお茶がいったんこのひごに摘み入れられました。ひご一杯が何分と決っていて、だいたい男より女の方が早く一杯にしました。

茶摘み道具の変遷は袋をつけた手鋏から始まります。そして背中に小さなエンジンを持つ動力鋏が普及するに及んで、ひごは茶摘み道具の主役の座を降りました。

昭和四十五年、背負式茶刈機が東白川に八十八台、昭和四十七年、二人用動力茶刈機が一台登場、昭和五十八年、背負式が四百六十六台でピーク、その年二人用が百十台、平成四年には背負式が二百三十四台に減少、二人用が百八十八台に増加、それではひごはどうなったかという点でも手摘みの高級茶づくりに欠かせない道具です。

しかし竹細工をする人が居ませんから材料が竹からビニール紐に変わりました。特に荷造りに使う黄色や青の平紐が丈夫で、軽い新素材として幅を利かせるようになっていきます。





▲伊藤麻友ちゃん

(保夫さん・久仁子さん二女=日向)



# ホットアングル

四月十日、役場仮庁舎への引っ越しの一コマ。コピー機、金庫など重量のある備品は、クレーンで窓から入れました。

栃山の加藤公一さんが、広報三月号の「ふるさと」の道具生活史」のいろいろの図についてお便りを下さいましたのでご紹介したいと思います。



いた様式は幾通りかありますが、原理は梃子用であることには、変わりありません。広報の図解は梃子の位置が違っていろいろ

に思いました。

余談になりますが、昔使用した鉄瓶や茶釜について少し書いてみたいと思います。鉄瓶の原料はご承知のとおり錳物と呼ばれる鉄で普通の鉄とは違います。水を入れないまま熱しても形はくずれませんが、強くたたいた

は柄杓で汲み出します。今なお旧家の土蔵には、これらの古道具が保存されています。現代の子どもにはあまり話して聞かせることはないでしょう

前略 三月号を拝読し、一部気付いた点がありましたので、お知らせします。記載されている図解が実際と少し

違ふ点です。近世になってからは、蓋だけ薄い真鍮で作られていて、湯が沸騰しますとピンピンと音をたてる製品もできました。南部鉄瓶といつて有名です。茶釜の用途は鉄瓶と同じですが、使用法が違います。鉄瓶より大型で湯、水の出し入れ口が一つです。湯を急須等に移す時

が、「文福茶釜」(茂林寺という寺に狸が茶釜に化けて住んでいた話。この物語は劇化され舞台上映され、青年会の公演会の余興に上演したこともあり)の物語など年寄りには思い出が多くあります。

変わっていろいろの図解が実際と少し違ふ点です。近世になってからは、蓋だけ薄い真鍮で作られていて、湯が沸騰しますとピンピンと音をたてる製品もできました。南部鉄瓶といつて有名です。茶釜の用途は鉄瓶と同じですが、使用法が違います。鉄瓶より大型で湯、水の出し入れ口が一つです。湯を急須等に移す時

何事も新しい時代の波に打ち消され形も失われています。やむを得ないことですが、せめて村に伝わった古い物や話等集めたいと思うこのごろです。敬具

加藤 公一

## お話を きかせて ください

### 独居老人訪ねある記

たで、五加小学校の給食婦をやりました。十五年勤めましたが、いつの時、代も子どもの顔はいいもんですね」と懐かしそうに語られる。

「みんなが寂しいこたあないかねと心配してくださるけど、もうすっかり慣れっこになってしまいましたよ」。と話してくれたのは、柏本の井戸千代さん。井戸さんは、明治四十二年生まれ、この七月に満八十四歳になります。

井戸さんはご主人と死別され、お二人の息子さんが社会に出てからはずっとお一人で暮らして見えます。「一人で暮らしてはじめてかれこれ、三十五、六年になります。何をやるにも一人です。やらにやならんで古い家具なんかは、もう三十何年も同じ位置にあるようなことですよ」。

若い時には助産婦さんとして活躍された井戸さんはこんな話も聞かせてくれました。「産婆の仕事は、夜も昼も関係なし。夜の時は、息子を母親に頼んで通ったもんです。母子センターができてからは、お誘いもあつたけど神土まで通うに大変やっ



井戸千代さん



# わたしの作品



▲「とびだせいろ」  
東白川小学校2年生 中島和真さん(平)



◀「No. 1」  
東白川小学校  
6年生  
古田純平さん  
(西洞)



▲壁画  
五加保育園卒園  
卒園記念作品  
(卒園児6名)

▲看板

神土保育園  
卒園記念作品  
(卒園児25名)

## 広報文芸

### ●俳句

花の下心にもなき世辞をふと  
風が舞い花芽も固き小谷まち  
春炬燵耳引く孫に眼ざめけり  
雪の山夕日に映えて和みけり  
○嫁して主なき雛飾られし  
マスクする孤独の白き待合室  
山々を収めて御嶽春の雪  
手作りのお供物捧げ初午祭  
楸の柄をそろへて架けて鏡餅  
○母と居て母を忘る、春の泥  
惠那山は品よくそびえ残る雪  
○辛夷咲き妻の背を押し坂のぼる  
北国の友へ送りし花便り  
水仙の黄の色濃きを切花に  
おいらくの集いに涙茶漬け

安江 一滴水(日向)  
安江 市助(栃山)  
熊崎とみの(下野)  
安江とくよ(平)  
新田 義男(加舎尾)  
桂川 喜郎(栃山)  
安江 武子(平)  
今井 統子(平)  
田口 耕作(中谷)  
田口 清美(曲坂)  
村雲みか子(中通)  
田口 秋映(日向)  
安江 圭一(宮代)  
安江すみよ(平)  
河田 重喜(西洞)

### ●狂俳

小さい声 草葉の陰で泣いている  
見たり聞いたり 村内めぐりで村を知る  
◎小さい声 隣の部屋で婆寝とる  
なんたらこつちや もぐらの穴から水逃げる田口 秋映(日向)  
小さい声 金丸被告答弁す 安江 圭一(宮代)  
◎花吹雲 金さん派手に見得を切る田口 秋映(日向)  
なんたらこつちや 霜で今年もお茶枯れる 安江 圭一(宮代)  
小さい声 孫の告げ口いじらしい 田口 秋映(日向)  
なんたらこつちや 儲けるつもりが損しとる 安江 圭一(宮代)  
なんたらこつちや 親子共々入院す 田口 秋映(日向)

あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ち  
しています。投稿は奇数月の二十日までに、俳句は西洞河田重喜宛。  
狂俳は陰地安江永吉宛までお寄せ下さい。なお、今回の狂俳の題は  
「ひねもす」「しなやか」「娘盛り」です。

清流軒久永選



たった山  
一つの違い  
がこんなに  
大きな印象  
の違いとな

つてくるとは思いもよらぬこと  
でした。自分の狭さに恥じる思  
いでいっぱいです▼今から十数  
年も前なら黒川も東白川もそん  
なに大きな違いはなかったと思  
います。しかし、今は一年で様  
相が一変してしまふ程の時代に  
生きています。その要因は、情  
報化の波でもなく、文化や便利  
さでもない。まさにその地に住  
む人々の持つエネルギーではな  
いかと感じています。▼わたく  
しが縁あってこの東白川にお世  
話になって一カ月余り、何がそ  
のエネルギーの発端になってい  
るか私なりに考えてみました。  
それは、村民の皆さんの大脳が  
とても柔らかいのではないかと。  
つまり発想がとても豊かである  
ために従来あった村意識の卑屈  
さから脱却し、誇りある村創造  
のために村民が努力している。  
活力ある所で働ける喜びを感じ  
ています。